



上：廃墟となって登録後のいまでも崩壊を続ける軍艦島（長崎市）
左下：沖ノ島が審査されたクラブ（ポーランド）での世界遺産委員会
右下：粉々に破壊された仏像などの文化遺産。内戦の舞台となったカープル博物館で 3 枚とも中村俊介氏提供

文化遺産学セミナー

メディアが見た 世界遺産の裏側

人類遺産を後世に残すという、最大かつ究極の制度が世界遺産条約。しかし、それは同時に社会や国家のエゴや葛藤、打算がうごめくシステムでもある。噴き出す矛盾と課題をいかにして解決し、折り合せてゆけるか。その実現には、様々な垣根を越えた連携と、ローカルかつグローバルな視野が求められる。

新学術創成研究機構・文化遺産国際協力ネットワークユニットでは、文化遺産に関する様々な知見を、国際シンポジウムやセミナー、学術講演会などを通じて多角的に発信して参りました。本年は、文化遺産に関する極めて広い視野と鋭い洞察を通じて議論を多彩に展開されているジャーナリストの中村俊介氏をお招きしてセミナーを開催致します。ふるって御参加ください。

2023年2月1日(水)

10:30-12:00 (開場 10:15)

会場

金沢大学

人間社会第2講義棟

401 教室

講演者

中村 俊介 氏

朝日新聞編集委員

モデレーター

河合 望

金沢大学新学術創成研究機構・教授

谷川 竜一

金沢大学新学術創成研究機構・准教授

参加

無料・事前登録不要

※ 学生だけでなく、どなたでも参加できます。なお、コロナなどにより、急遽中止する場合があります。御了承ください。

主催

新学術創成研究機構・文化遺産国際協力ネットワークユニット

共催

金沢大学 古代文明・文化資源学研究所

連絡先

tryuichi★staff.kanazawa-u.ac.jp (★→@)